

【基本方針Ⅰ】人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

	R6重点事業	1_門前町歴史まちづくり推進事業	2_松ヶ岡魅力創出支援事業	3_出羽三山精進料理魅力発信事業	4_映画ロケ等支援事業	5_月山高原エリア活性化事業	6_大鳥居周辺花いっぱい事業	R6重点事業	7_羽黒山スギ並木保全計画策定事業
事業期間		R1～	R1～	R1～	R1～	R1～5	R3～		R5～
R5までの取組状況		❖手向門前町の歴史的まちなみの整備推進と観光やまちづくりへの活用 ・H29～R5までの修景整備件数44件/実施率44％ ・R5年度出羽三山魅力発信協議会によるイベント来場者数500人（講演会、門前市、まち歩きツアー/親子）	❖松ヶ岡が主体的に行う事業の支援 ・イベント来場者数：8,250人 桃市：2,500人 クラフトフェス：5,000人 雪まつり：750人 ・松ヶ岡においてお茶を栽培し、R5年度は紅茶を172杯提供した。	❖固有の食文化である出羽三山の精進料理の魅力発信 ・6/22首都圏で講演会開催参加者40人。 ・11/13東京第一ホテル鶴岡で講演会開催。 ・宿坊宿泊者へ企画ツアー11本、参加者277人。	❖映画ロケに対する支援の充実 ・ロケ実績3本、特産品の提供や炊き出し等を実施。 ・ポスター・チラシの作成やのぼり旗の更新。	❖月山高原エリアの認知度向上 ・ひまわり植栽による集客。 ・写真撮影用のフォトフレーム設置や撮影小道具の貸し出し。 ・月山高原、花畑を紹介するホームページ運営と告知。	❖手向門前町の観光やまちづくりへの活用 ・6/10住民約50人、6/12保育園児18人参加計4種類1,200株植栽。 ・花いっぱいクラブが花の管理を実施。	❖羽黒山杉並木継承のための持続可能な保全活動の促進 ・来訪者意識調査/約300件回答 ・杉の危険木健全度デモ調査 ・北海道大学とのオンライン研究会 ・手向地区の杉並木に対する住民アンケート/回答率20％	
事業評価		・連続した趣あるまちなみが形成され、地域住民の景観に対する意識が高まった。 ・景観を活かした来訪者が回遊して楽しめる仕掛けづくりが課題。	・四季折々のイベントを実施することで観光地として認知されてきている。 今後は、県内外への情報発信力が課題。 ・開墾場の利活用が、地域の活性化に繋がるような事業計画、意識醸成が課題。	・国内外からの集客や食文化創造都市の形成に大きく貢献できている。 ・インバウンド対応にも力を入れていることで、羽黒地域への外国人宿泊者数はR5年が過去最高となった。	・地場製品の提供が、口コミやメディア、SNSなどを通して、鶴岡市の食材と食文化が全国へ情報発信されている。 ・継続したロケ誘致にも結び付いている。	・ひまわりが一面満開になった年は、人気の観光スポットとして集客効果があった。 ・気候の影響、土壌の状態に左右されるため、安定したひまわり畑の創出が課題。	・観光地としてのイメージ向上が図られた。 ・背の高い雑草により視認性が著しく低下していたが、通行上の見通しが改善され交通事故の未然防止につながっている。	・ビジョン策定のための現状調査を実施し、デモ調査により歴まち重点区域内の健全度調査費用の試算した。 来訪者調査では杉並木保全への協力金に対し回答者の55%が賛同する回答だった。 ・スギ並木保全の必要性について地域の方や観光客、参拝者への理解、周知活動が課題。	
R6取組状況		・修景整備申請6件/実施率48％ ・出羽三山魅力発信協議会による講演会(9/3スギまち協と共催)、門前市、まち歩きツアー/婚活 ・景観整備プレート設置事業	【イベント来場者数】 ・桃市8/3 2,500人 ・クラフトフェス9/28.29予定 ・雪まつり1月下旬予定 ・松ヶ岡紅茶 120杯	・HP・SNSによる情報発信等 ・外国人宿泊者に対し「口コミ依頼カード」を作成。 ・8/27東北ブロック記者会見にて、精進料理のPR実施	・7、8月撮影時、スタッフ・エキストラ等約300人分へ地元食材での食事提供 ・のぼり旗や看板の整備完了 ・1、2月映画関係者へ地元食材によるおもてなし予定。		・6/8住民約60人、6/12保育園児21人参加、4種類1,200株植栽。 ・花いっぱいクラブが花の管理を実施中。	・ビジョン・アクションプランの検討 ・先進地視察（11月予定） ・講演会（9/3魅力発信協と共催）「なぜスギ並木を守るのか」 ・北海道大学とのオンライン研究会	
R6予算額（千円）		9,124	800	160	300	—	486		1,260
事業写真		まちなみ景観保全修景整備 	松ヶ岡クラフトフェス開催 	首都圏講演会 	スタッフへ食事提供 	月山高原ひまわり畑 	花の植栽 	事業始動式 	